



令和8年度 第5号

令和8年7月16日発行

小山中学校だより

町田市立小山中学校

～温かく穏やかな雰囲気为学校づくりを～

HP=<https://machida.schoolweb.ne.jp/1320109>

【教育目標】 目指す生徒像

【創造】すすんで学び、創造性のある生徒

【敬愛】豊かな心を持ち、思いやりのある生徒

【健康】心身ともに健康で、意志の強い生徒



内面を豊かにし、心身ともに成長する夏休みに

校長 福田 秀樹

都立小山田緑地(公園)から、ネムノキの花が見頃を迎えた花だよりが届いています。ネムノキは、葉を閉じて眠り(就眠運動)ます。古代では「眠る」ことを「ねぶる」といい、万葉集には「ねぶ」の名で登場します。室町時代にネムノキという呼び方が定着したのだそうです。

ネムノキといえば、上皇后美智子様が聖心女子学院高等科時代に作られた詩をもとに誕生した、日本を代表する子守歌『ねむの木の子守歌』を思い出します。

「薩摩なる喜入の坂に登り来て合飲の花見し夏の日想ふ」(上皇后陛下『瀬音』)

5月に「生誕100周年記念 安野光雅展」を鑑賞する機会があり、多くの書籍も展示されていました。我が家にある絵本など、懐かしく眺めている中に『御所の花』という一冊に描かれている花々の美しさに見惚(と)れてしまいました。残念ながら絶版で購入できませんでしたが、書店で『皇后美智子さまのうた』(安野光【2010】)に出会い、その素敵な内容に惹(ひ)かれています。

6月の学校だよりで触れた「ひめゆりの塔事件」(1975年7月17日)の翌日、皇太子御夫妻は、名護市の国立ハンセン病療養所を訪問され、視覚に障がいのある患者さんや病気で手の指が欠損した患者さんの手を握っていたわれます。この後も御夫妻は、長年にわたりハンセン病患者が暮らす全国の療養所を訪問し続けられます。このことについて、『皇后美智子さまのうた』には安野さんの次のような記述があります。

「ハンセン病の患者と握手しながら懇談された、なんとやさしい皇后なのだろう」と友人が感想をもらした。われわれの皇后ほど、哀しみのわかる人はあるまい、療養者の変形の進んだ手にご自身の手を添えてその哀しみをともにしようとしたのだ。それは、ただやさしいという言葉では言い表せまい、演技ではできない。わたしは、過去に迷惑をおかけした日本人に代わって詫びたいほどの心で握手されたのではないかと思う。

スイスのバーゼルで行われた国際児童図書評議会(IBBY)に出席されたとき、諸外国の編集者たちが声をそろえて、

「日本にはなんとすてきな皇后さまがいらっしゃるのだろう」

といったという。私たちは、世界に誇る皇后を持っているのだ。

安野さんが紹介されている、2002年にスイスのバーゼルで行われた国際児童図書評議会(IBBY)に出席されたときのおことばと、1998年のインドのニューデリー大会国際児童図書評議会(IBBY)での基調講演も宮内庁の公式ホームページで読むことができます。どちらも感動的な内容です。生徒の皆さんにも保護者の皆様にもお勧めです。

ここでは、ニューデリー大会での基調講演の一部を紹介します。美智子様が御自身の子供時代の読書経験をふり返し、大会の主題である「平和」に沿ってお話されている部分です。

生まれて以来、人は自分と周囲との間に、一つ一つ橋をかけ、人とも、物ともつながりを深め、それを自分の世界として生きています。この橋がかからなかったり、かけても橋としての機能を果たさなかったり、時として橋をかける意志を失った時、人は孤立し、平和を失います。この橋は外に向かうだけでなく、内にも向かい、自分と自分自身との間にも絶えずかけ続けられ、本当の自分を発見し、自己の確立をうながしていくように思います。(下線:福田)

お話は、読書についての内容ですが、引用部分の表現は人と人の関係や自分と自分自身の内面との関係に触れられています。以前にも皆さんにお話した、学校が「時間」と「空間」を共有することにも通じていると感じます。

同じ地域や国、そして地球を舞台に考えていけば、そこに暮らす人々はすべて「時間」と「空間」を共有する仲間であるはずです。夏休みのしおりに寄せた一文にも、世界に目を向け、平和について考える時間の大切さに触れています。他人事(ひとごと)ではなく、自分事(じぶんごと)として考える夏休みにしてみましょう。

2学期の始業式で、ひとまわり成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。

保護者の皆様には、夏季休業中も御家庭での見守りと励ましをお願いいたします。今後とも本校の教育活動への御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

日常を振り返り、充実した2学期を迎えるために

副校長 河野 龍

4月を迎え、それぞれ一つ学年が進み、体育大会や期末考査を通して徐々に学校にも慣れてきたことだと思います。慣れも含めて、全ては良い面と悪い面、双方があります。人間は段々と怠けたり、手を抜いたりしてしまいます。夏休みはそういうことを含めて、振り返る良い機会になります。学習面や生活面で4月当初はがんばれていたのに、徐々に手を緩めてしまった人は、夏休みでリフレッシュをして2学期のリスタートに備えてみましょう。

手を抜くといっても悪いことばかりではありません。効率を上げ成果につなげることができれば、それは効率化であって手抜きではありません。どうしたらもっとうまくできるかを考える機会にしてください。

夏休みは時間があり、多くの非日常体験ができると思います。ただそこにも落とし穴はあります。インターネットには他の人をだまそうとする人もいます。インターネットの情報はすべてが正しい訳ではありません。情報を見極める目を養っていきましょう。嘘や偽の情報に惑わされず、本質を見通すことを考えてください。学習した内容を確認するのもインターネットで調べている人はいると思います。正しい考え方を自分自身で考えてください。AI も同じです。アルゴリズムで導き出された回答なので、すべてが正しいとは限りません。うまく使うためにも、判断できる力を高めていきましょう。

◆◆◆ 表彰の生徒・部活動の紹介 ◆◆◆

敬称略

第7ブロック町田市バドミントン選手権大会	男子団体戦 優勝	バドミントン部男子チーム
第73回東京都中学校第7ブロック 町田市バドミントン選手権大会	女子シングルス 第3位	3C 生徒
	男子ダブルス 第1位	3D 生徒
		3F 生徒
町田市中学校体育連盟バスケットボール選手権大会	女子の部 優勝・都大会出場資格獲得	女子バスケットボール部
町田市中学校体育連盟主催町田市中学校野球夏季大会	優勝	野球部
令和8年度第26回東京都中体連第7ブロック中学校夏季剣道大会	都大会女子団体の部出場資格獲得	剣道部女子団体チーム
第42回町田市剣道連盟剣道大会	中学生女子の部 敢闘賞	3A 生徒

◆◆◆ 今後の予定 ◆◆◆

7月21日(火)	夏季休業日始・三者面談始(～7/30)	9月4日(金)	【3年】復習確認テスト
7月22日(水)	連合音楽会(吹奏楽)		通学区区域緩和制度入学説明会
8月10日(月)	学校閉庁日始(～8/15)	9月5日(土)	【3年】午前授業・給食なし
8月31日(月)	夏季休業日終・職員前日出勤		通学区区域緩和制度入学説明会
9月1日(火)	始業式・避難訓練(集団下校)・給食なし	9月7日(月)	学校公開週間始(～9/11)
	職員会議	9月8日(火)	心のアンケート・【3年】修学旅行前検診
9月3日(木)	安全指導	9月9日(水)	漢検申込
		9月11日(金)	生徒会役員選挙